

尖閣諸島 中国漁船衝突事件

民主党の稚拙な外交。 戦後の外交史上、 最大の汚点。



**私たち自民党は
徹底的に政府の姿勢を正し、日本を守ります。**

中国漁船衝突事件のてん末は、まさに民主党政権の稚拙な外交の結果です。戦後の日本外交史に最大の汚点を残すことになりました。

自民党は、今回の事件の経緯を徹底的に追及し、政府の姿勢を正し、日本の主権と国益を守るために全力を尽くします。

尖閣諸島は日本固有の領土です。歴史的にも、国際法上も疑いがありません。このことを内外に明確にし、中国側の不当な主張を退けなければなりません。

そして、衝突時のビデオ公開などわが国の正当性を情報発信し、東シナ海での警戒・監視の強化等を通じ、領土の保全と日本漁民の安全操業の確保を早急に進めなければなりません。

しかし、民主党政権は、全く正反対の稚拙な対応をとりました。「法令に基づき粛々と対応する」との方針が、中国側の圧力を受けた途端、突然に船長釈放という方針転換の腰砕け状態。国際社会に「**日本は圧力をかければ譲歩する**」という誤ったメッセージを発信してしまいました。

さらに、民主党は、まさに責任を持って「政治主導」で解決すべき外交問題を、**検察に責任を押し付けて逃げています**。そもそも捜査機関である検察当局が外交上の配慮から方針を変更することは、**法治国家の根底を揺るがす異常な事態**です。

自民党は、民主党の国益を無視した、稚拙で危ない政権運営を徹底的に正し、日本を守っていきます。